

# CATウェブサイト日本語版について なぜこの仕事を進めるのか

2006/06

UtchiMura Masao

# 日本語版の起源

- 財団法人国際AI財団が、1996年と1997年の二回に渡り、当時のCAT所長Roger Kelly氏国際会議のゲストスピーカーとして招待。
- 国際AI財団の一職員が国際会議に向けてCATの出版物「驚異の先駆者達」の抜粋を翻訳。
- 翻訳文書は1998年より、国際AI財団のウェブサイトにて公開。

# 日本語版の変遷

- その後も個人ボランティアとして翻訳とウェブの拡充を継続。
  - [www.ifai.or.jp/jcat](http://www.ifai.or.jp/jcat)
  - [www.biocity/jcat](http://www.biocity/jcat)
  - [homepage2.nifty.com/jcat](http://homepage2.nifty.com/jcat)
  - [www.cat.or.jp](http://www.cat.or.jp) (2004年から、月間18000リクエスト)

# 日本特有の問題

- ハコモノ行政
  - 行政のハコモノ志向や関連する利権、そしてそれを必要悪として黙認する社会風土によって、CATの様な団体は墮落する事が少なくない。
- CATの最も優れた学ぶべき点は、その組織自体が健全な未来社会のテストケースである事。

# なぜ個人で続けるのか

- CATの理念的価値を伝えるのは難しい。
  - 多くの日本人は依然としてCATをハコモノとしての「センター」としか思っていない。
  - 複数人で理念や思想を語り始めれば30年かかる。しかし、CATが既にそれを済ませている。
- 決心：CATについての議論はしない。CATが述べている事を日本語に訳して発信するのみ。